

実務経験のある教員等による授業科目の一覧

学校名: 戸田中央看護専門学校

課程: 医療専門課程 学科: 看護学科

教育内容	授業科目	授業の種類	実務経験の概要	実務経験と授業科目との関連性	単位	時間数	1年次		2年次		3年次	
							単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数
基礎看護学	看護学概論	講義 / 演習	病院の機能を理解したうえで、専門家としての責務や役割における責務を遂行した。チーム医療の中で、看護師として対象を理解し看護実践を行った。看護研究を通して看護の質の向上を考えた。	実務経験を活かし、看護とは何か、看護師の役割や責務について学生と討議する。経験を教材にして、中核理論を教授し、倫理的問題を提示して学生自身が主体的に学ぶ授業を行う。	1	30	1	30				
	看護の基本となる技術	講義 / 演習	様々な疾患、病気の患者に対する看護を経験。看護の基本技術をもとに、優先度をふまえて対象に関わり看護実践をしてきた経験がある。	実務経験を活かし、健康障害をもつた患者と関わるために必要な技術、考え方について実践的な内容を含めた講義と技術指導を行っている。	1	15	1	15				
	フィジカルアセスメント	講義 / 演習	内科・外科系病棟においてあらゆる年齢層・疾患に対する看護を経験。フィジカルアセスメントを通して患者の状態を把握し看護を実践してきた。	実務経験を活かし、対象の生命徴候を捉え、どのように観察・アセスメントし看護につなげるのかを実践的な事例を通して講義と実技指導を行っている。	1	30	1	30				
	生活を整える技術Ⅰ	講義 / 演習	内科・外科系病棟においてあらゆる年齢層の対象に対し看護を経験。その中で、対象に合わせた日常生活を整える看護を実践してきた。	実務経験を活かし、健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術について講義を行い、実践的な演習を通して援助技術を習得できるよう、指導を行っている。	1	30	1	30				
	生活を整える技術Ⅱ	講義 / 演習	食事、排泄などの生活援助を実践した病棟経験がある。小児から高齢者、終末期の患者まで、様々な疾患を抱えた患者一人一人に合わせた手法を用いて看護を実践してきた。	実務経験を活かし、実践的な事例を含めた講義と技術指導を行い、対象者の日常生活における未充足への基本的援助技術を習得できるようにする。	1	30	1	30				
	生活を整える技術Ⅲ	講義 / 演習	内科・外科系病棟においてあらゆる年齢層の対象に対し看護を経験。その中で対象に合わせた、日常生活を整える看護を実践してきた。	実務経験を活かし、健康を促進するために必要な清潔の援助技術について講義を行い、実践的な演習を通して援助技術を習得できるよう、指導を行っている。	1	30	1	30				
	回復を促す技術Ⅰ	講義 / 演習	内科・外科系病棟において、围手術期から回復期、終末期まで様々な段階のあらゆる年齢層を対象に看護を経験。検査・治療を受ける対象への看護を実践してきた。	実務経験を活かし、検査・治療を受ける対象に必要な看護について、講義と演習を展開し指導を行っている。	1	30	1	30				
	回復を促す技術Ⅱ	講義 / 演習	内科・外科系病棟において、围手術期から回復期、終末期まで様々な対象や疾患を問わず診療の補助を経験。基本に基づき適切な方法で看護を実践してきた。	実務経験を活かし、実践的な事例を含めた講義と技術指導を行い、基本に沿った援助技術を習得できるようにする。	1	15	1	15				
	臨床看護総論Ⅰ	講義 / 演習	急性期～慢性期病棟においてさまざまな疾患やあらゆる年齢層の患者に対する看護を経験。アセスメントから主要症状に対する早期発見と、患者のニーズを捉えた看護を実践してきた。	実務経験を活かし、さまざまな機能障害をもつた患者のアセスメントの視点とその看護について、臨床での事例を用いた実践的な内容を含めた講義と技術指導を行っている。	1	30	1	30				
	臨床看護総論Ⅱ	講義 / 演習	内科・外科系病棟において学童期～老年期にあたる様々な対象の看護を経験。その中で対象に合った看護展開を行い実践してきた。	実務経験を活かし、対象の健康障害をアセスメントし、実施・評価する過程について実践的な事例を含めた講義をおこなっている。	1	30	1	30				
地域・在宅看護論	看護の思考と表現	講義 / 演習	様々な疾患、病期の患者に対する看護を経験。看護の基本技術をもとに、優先度をふまえて対象に関わり看護実践をしてきた経験がある。	実務経験を活かし、看護師としての実践を行うために必要な思考や倫理的判断および表現方法について実践的な事例を含めた講義・演習を行っている。	1	15	1	15				
	臨床看護推論	講義 / 演習	急性期～慢性期病棟においてさまざまな疾患やあらゆる年齢層の患者に対する看護を経験。アセスメントから主要症状に対する早期発見と、患者のニーズを捉えた看護を実践してきた。	実務経験を活かし、対象の健康問題に対し、その場に合わせたアセスメントを行い、実施・評価する過程について実践的な事例を含めた講義をおこなっている。	1	15	1	15				
	地域・在宅看護概論	講義 / 演習	神経内科・形成外科混合病棟や救急外来での看護を経験。現在は、訪問看護ステーションで在宅医療の支援を実践している。	訪問看護ステーションで多職種連携を行い、利用者やその家族との関わりから、地域医療を支える制度などを関連させて授業や演習を行う。	1	30	1	30				
	地域の生活	講義 / 演習	急性期病棟・医療介護療養病棟・介護老人保健施設・回復期リハビリテーション病棟・在宅訪問診療・在宅入浴で看護及び退院支援に従事。	実務経験から習得した知識を使い、地域で生活する対象の生活の様子、抱える課題・生活の困難についてイメージ化を図り、授業展開する。	1	15	1	15				
	地域の環境	講義 / 演習	急性期病棟・医療介護療養病棟・介護老人保健施設・回復期リハビリテーション病棟・在宅訪問診療・在宅入浴で看護及び退院支援に従事。	実務経験から習得した知識を使い、地域で生活する対象の生活の様子、抱える課題・生活の困難についてイメージ化を図り、授業展開する。	1	15	1	15				
	地域で療養する人への生活支援	講義 / 演習	急性期病棟・医療介護療養病棟・介護老人保健施設・回復期リハビリテーション病棟・在宅訪問診療・在宅入浴で看護及び退院支援に従事。	実務経験から習得した知識を使い、地域で生活する対象の生活の様子、抱える課題・生活の困難についてイメージ化を図り、授業展開する。	1	30			1	30		
成人看護学	地域で療養する人への医療支援	講義 / 演習	急性期病棟での看護、発展途上国で外来・病棟マネジメントを経験。訪問看護ステーションでは予防的支援、医療依存度の高い療養者や在宅での看取り看護、また家族への支援を実践した。	様々な環境にある対象の価値観や背景を考慮し、疾患だけでなく全体を把握した看護ができるように、実務経験を活かし事例を交えながら授業を行う。	1	30			1	30		
	地域で療養する人への継続看護	講義 / 演習	急性期病棟での看護、発展途上国で外来・病棟マネジメントを経験。訪問看護ステーションでは予防的支援、医療依存度の高い療養者や在宅での看取り看護、また家族への支援を実践した。	様々な環境にある対象の価値観や背景を考慮し、疾患だけでなく全体を把握した看護ができるように、実務経験を活かし事例を交えながら授業を行う。	1	15			1	15		
	成人看護学概論	講義 / 演習	急性期から慢性期病棟で成人期から老年期までの看護を経験。成人期の健康問題における疾患に対して、患者・家族を対象として入院中から退院後の生活までを含めた看護を実践していた。	実際にあった患者・家族の事例を用いながら、現代の成人の生活や健康問題について授業展開していく。また、事例を通して看護の意味を考えることで、理論について理解を深めていく。	1	30	1	30				
	周術期の看護	講義 / 演習	集中治療室、急性期病棟での実務経験を有し、患者・家族を対象に術前から術後、退院支援の看護を実践していた。	実務経験を活かし周術期にある対象の特徴を理解し、合併症の予防と早期回復支援を学ぶことができる授業をする。	1	15			1	15		
	健康危機状態から回復を促す看護	講義 / 演習	急性期から慢性期病棟で成人期にある対象の看護を経験。手術療法・化学療法・放射線療法を受ける患者や家族に対しての看護、退院や転院の支援などの看護を実践していた。	実務経験を活かし生命の危機状況および症状の急性増悪など、急激な健康状態の変化にある人らにその家族の特徴を理解し、重症化の回避・早期回復に向けた看護を学ぶことができる授業を展開する。	1	30			1	30		
	セルフマネジメントを支える看護	講義 / 演習	内科病棟では、生活習慣病(糖尿病)から合併症である腎障害による透析患者との看護を実践している。また、造血機能障害患者に対しては、化学療法や輸血療法を受ける患者や家族の関わりを含めた看護を実践していた。	実務経験を活かし治療により病態がある程度安定しているが、症状が固定化し経過が長く病状ともに生活していく必要がある対象へ、合併症を予防し良好な状態を維持するセルフマネジメントを支援する方法と姿勢を学ぶことができる授業をする。	1	30			1	30		
専門分野	生と死を支える看護	講義 / 演習	内科病棟・緩和ケア病棟で、成人から老年期にある対象とその家族に対して、薬物療法や放射線療法などにより心理・社会・スピリチュアルケアなど包括的な看護を実践している。	実務経験を活かし、疾病の治療が望めず病態が終末を示し、死までの最期の生きる時間を人らしく過ごすための、全人的苦痛の緩和に向けたケアや家族への支援方法や臨床倫理をふまえた姿勢を学ぶことができる授業をする。	1	30			1	30		
	臨床判断と看護の実践	講義 / 演習	急性期から終末期における様々な疾患や患者に対する看護を経験し、患者のニーズ、優先度を捉えた看護を実践していた。	これまでの学習をふまえて、対象の多様な状況に対して「気づき」「解釈」「行為」「省察」することを実務経験を活かし、臨床判断を行なうための基礎的能力を養うための授業をする。	1	15			1	15		

	生活の再構築を支える看護	講義 / 演習	病棟看護師として実務経験を有し、成人期における周手術期から回復期・終末期の看護を経験。手術療法・化学療法や退院・転院支援などの看護を実践している。	実務経験を活かし様々な疾患により障害が発生し、社会復帰に向けてリハビリテーションを必要とする対象へのADL拡大、二次障害予防と障害受容、生活の再構築への支援の方法と姿勢を学ぶことができる授業をする。	1	30	1	30				
老年看護学	老年看護学概論	講義 / 演習	急性期から終末期までの、家族を含めた高齢者看護を経験。カテーテル検査・治療や造影等、侵襲を伴う検査・治療での様々な看護の経験を経験している。	実務経験を活かし、高齢者の「その人らしさ」を支える高齢者看護と看護師の役割について、事例を通して講義を展開する。	1	30	1	30				
	日常生活に支援を必要とする高齢者の看護	講義 / 演習	内科・外科病棟において、急性期から終末期までのあらゆる年齢層の患者と家族に対する看護を経験。化学療法や手術療法に対する看護や退院支援を実践してきた。	実務経験を活かし、高齢者の強みを捉えたその人らしい生活への支援や老年看護過程について、事例を通して講義と演習を展開する。	1	30	1	30				
	健康障害をもつ高齢者の看護	講義 / 演習	病棟での臨床経験を有し、周手術期から回復期・終末期の看護を経験。手術療法・化学療法や退院・転院支援を実践している。	実務経験を活かし、高齢者の全体像と強みを捉えてその人らしい生活に向けた援助について、事例を通して講義を展開する。	1	30	1	30				
	高齢者へのきめ細やかな看護	講義 / 演習	内科・外科病棟において、急性期から終末期までのあらゆる年齢層の患者と家族に対する看護を経験。化学療法や手術療法に対する看護や退院支援を実践してきた。	実務経験を活かし、高齢者の強みを捉えたその人らしい生活への支援や老年看護過程について、事例を通じて講義と演習を展開する。	1	15	1	15				
小児看護学	小児看護学概論	講義 / 演習	大学病院や総合病院、小児専門病棟の小児病棟や新生児集中治療室において、さまざまな発達段階や健康状態の子どもの家族に対する看護を実践した経験がある。	実務経験を活かし、小児看護の対象である子どもの成長・発達の特徴と子どもを取り巻く家族や社会環境、子どもの健康と権利を守るための医療・保健・諸制度とその活用方法、子どもの健康課題についての講義・演習を行う。	1	30	1	30				
	子どもの日常生活援助	講義 / 演習	大学病院や総合病院、小児専門病棟の小児病棟において、さまざまな発達段階や健康状態の子どもの家族に対する看護を実践した経験がある。	実務経験を活かし、子どもの発達段階に応じた生活と成長・発達の特徴、健康増進に向けた基本的な日常生活援助についての講義・演習を行う。	1	15	1	15				
	小児臨床看護論	講義 / 演習	大学病院や総合病院、小児専門病棟の小児病棟や新生児集中治療室において、さまざまな発達段階や健康状態の子どもの家族に対する看護を実践した経験がある。	実務経験を活かし、病状や障害、症状を示す子どもと家族への影響や特徴や子どもの健康と権利を守るための看護、さらに子どものフィジカルアセスメントならびに検査、処置、治療に必要な基本的な知識と技術について講義・演習を行う。	1	30	1	30				
	健康障害のある子どもの看護	講義 / 演習	大学病院や総合病院、小児専門病棟の小児病棟や新生児集中治療室において、さまざまな発達段階や健康状態の子どもの家族に対する看護を実践した経験がある。	実務経験を活かし、あらゆる健康障害、さまざまな状況にある子どもたちが、その子どもらしく健やかに成長・発達しつづけることができるよう、それぞれの健康レベルに応じた看護について講義・演習を行う。	1	30	1	30				
母性看護学	母性看護学概論	講義 / 演習	総合周産期母子医療センターや総合病棟の産婦人科病棟にて様々なライフサイクルにある女性が抱える健康問題を解決するための看護を実践した経験がある。	実務経験を活かし、少子化や核家族化などの社会情勢を踏まえながら、母性看護に関連する様々な法律や制度について学ぶ。また「母性とは」、「生命の尊厳」について考える機会を持ち、生命観や母性観を養うきっかけとなるよう講義・演習を行う。	1	30	1	30				
	ウィメンズヘルス	講義 / 演習	総合周産期母子医療センターや総合病棟の産婦人科病棟や外来において、妊婦、産婦、産婦への保健指導（母親学級、産科学級を含む）および思春期、更年期にある女性への保健指導を実践した経験がある。	実務経験を活かし、各ライフサイクルにある女性の健康保持・増進支援に向けた講義・演習を行う。	1	15	1	15				
	妊婦と産婦の看護	講義 / 演習	総合周産期母子医療センターや総合病棟の産科病棟において、妊産婦とその家族に向け、正常から逸脱なく経過できるよう看護を提供し、分娩介助を実践した経験がある。	実務経験を活かし、主に正常経過を迎える妊婦と産婦へ、主支援、および正常を逸脱した場合の看護について講義・演習を行う。	1	30	1	30				
	褥婦と新生児の看護	講義 / 演習	総合周産期母子医療センターや総合病棟の産科病棟において、褥婦と新生児およびその家族への看護を経験。褥婦の正常経過を支援し、育児技術習得に向け看護を実践した。また新生児のスムーズな母体外生活への適応過程を支援する看護を実践した経験がある。	実務経験を活かし、主に正常経過を迎える褥婦および新生児への支援、正常を逸脱した場合の看護について講義・演習を行う。	1	30	1	30				
精神看護学	精神看護学概論	講義 / 演習	精神衛生法・精神保健法・精神保健福祉法における精神看護を、精神科病棟または社会復帰科で精神に障害をもつ対象や家族に対して、必要とされる看護を展開している。	実務経験を活かし、心の構造について、不安から生じる精神機能異常として現れる精神症状について講義している。また、歴史的な精神医療について振り返り、精神看護の課題と展望について講義する。	1	30	1	30				
	精神の健康を守る看護	講義 / 演習	心療内科の実務経験あり。身体症状・精神症状を訴える患者に対して臨床において看護の提供を実施している。	人が誰しも抱えている精神的ストレスについて理解し対処方法を理解することで、自分や他者に対して目が向けられるように講義展開を行う。また、精神におけるコミュニケーションは、大切な援助であり対象に合わせた方法を実践を要するため、演習を展開している。	1	15	1	15				
	精神症状のある人の看護	講義 / 演習	精神科病棟で急性期・慢性期病棟で勤務、また精神科デイケアで対象や家族に対して、必要とされる看護を展開した経験あり。	実務経験を活かし、精神科における安全な治療的環境について講義を行い、更に演習を通して学ぶ。精神疾患の主要症状、精神科救急、災害の看護について事例を用いて講義を行っている。	1	30	1	30				
	精神機能に障害がある人への社会支援	講義 / 演習	就労移行支援・定着支援・相談支援など精神障害者に対する地域生活支援を行っている。	精神科領域が入院中心から地域生活が中心となり、看護師の役割は広がりを見せ、社会資源などの知識が必要とされている。実務経験を活かし実際に行われている活動から、事例を中心とした講義を行っている。	1	30	1	30				
看護の統合と実践	看護研究の基礎	講義 / 演習	病院で看護師として実践した看護について論文としてまとめた研究発表を行う。	文献検索の方法を学び文献リストを作成する。看護実践の結果としてデータ収集の方法、分析方法を学び実際に1事例について事例研究としてまとめる。全学年参加の発表会で視覚的資料を用いて発表する。	1	15			1	15		
	看護マネジメント	講義 / 演習	現職の看護部長として看護部のトップマネジメントを行っている。また、医療安全対策室での経験、感染対策室での経験をもつ。	実務経験をともに看護のマネジメントについて実践的に展開する。実習を通しての学びを振り返りながら現場で起こりうるリスクについて理解を深める。	1	30			1	30		
	災害と看護	講義 / 演習	高度急性期の救急医療の現場で実践を行いながら、日本DMAT隊員としても活動している。震災時など被災病院や被災地の避難所、救護所での看護活動や生活支援の経験もあり、災害発生時の急性期から回復期、慢性期への看護実践を多く経験している。	臨床看護の場で、日常から災害に備える意識と体制づくりについて、考え、行動できる人になれるようにならねばならない。施設見学や野外での演習を通して、看護の実践行動につながる授業を工夫しています。	1	30			1	30		
	看護の統合と実践	講義 / 演習	病棟勤務にて、幅広い発達段階の対象への看護及び、健康保持増進期から終末期までの健康水準に応じた看護を展開した経験を持つ。	実務経験をともに各発達段階にある対象の看護、様々な健康水準にある対象の看護を実践的に展開するための授業を展開する。	1	30			1	30		
合計					45	1140	21	525	20	510	4	105

実務経験のある教員等による授業科目の単位時間数			
基礎分野	専門基礎分野	専門分野	合計
0	0	1140	1140